

特許出願公告及特許拔萃

特許出願公告拔萃

鑄型上込用衝撃装置 (13年特許公告第2666號, 公告13-7-11, 名古屋市, 株式會社, 久保田製作所) 鑄型上込用衝撃装置に於て搖動臺の昇降運動と之に關聯する瓣の昇降運動との關係を自由に調節して鑄型の大小形狀に適應する様衝擊の強弱及單位時間に於ける回数を調節し然も整調なる衝擊によりて優良なる鑄型上込操作をなさしむる目的を以て, 型枠及型板を載置して鑄型を作成すべき搖動臺の下部に形成せるプランジャーの上部に設けたる作動突部の上位及下位にギャップを形成すべく雌ネジを設けたる掛止片を瓣棒の上部に刻成せるネジ部に互に間隔を置いて調節自在にネジ合せ瓣棒の下部に削削部を介して上位瓣體及び下位瓣體を形成し上位瓣體の下端面を下位瓣體の上端面より大ならしめ且上位瓣體の上面を其下面と下位瓣體の上面との差より大ならしめて瓣シリンダの上孔部及び下孔部に夫々緩嵌し瓣シリンダの壁に堅通孔を穿設し上孔部の上部と通孔とを連通せしめ瓣シリンダと内周との間隙を経て加壓空氣を基シリンダ内下部に導入すべく成し下位瓣體にて瓣シリンダの下端に連通せる排氣筒と基シリンダ内下部とを連通及杜絶すべく成したる鑄型上込用衝撃装置。

ルテニウム又は其合金電氣鍍金法 (13年特許公告第2679號, 公告13-7-11, 亞米利加合衆國, ベーカー, エンド, コムパニー, インコーポレーテッド) 銀其他汚れ易き表面を有する物品に簡易なる方法に依てルテニウムの被着に依る優秀なる保護乃至裝飾加工を施さんとする目的を以て, 安定なるルテニウムのニトロ化合物の酸性, アルカリ性若くは中性の水溶液を電解質として使用し之を電解せしむることを特徴とするルテニウム又は其合金電氣鍍金法。

金電鍍法 (13年特許公告第2680號, 公告13-7-11, 大阪市, 菅原善治) 鍍層緻密にして硬度高く耐熱性及耐久性に富む實用上並に裝飾上有用なる鍍金を得んとする目的を以て, 鹽化金の水溶液に苛性アルカリ及少量の鹽化ロヂウムを添加したるものを電解液として金とロヂウムと同時に鍍着せしむることを特徴とする金電鍍法。

マグネシウム又はアルミニウム又は夫等の合金の電氣鍍金用中間鍍金液 (13年特許公告第2681號, 公告13-7-11, 東京市, 坂入祥始) Mg 又は Al 又は夫等の合金の如くイオン化傾向の大なる被鍍金材に物理的又は化學的清淨加工を施したる後浸漬し或は塗布し水洗後 Ni , Cr 等を電氣鍍金することに依り反覆澆曲し或は急激なる加熱冷却を行ふも容易に龜裂を生じ或は剝離する虞れなき電氣鍍金層を形成し得しめんとする目的を以て, 硫酸鐵, 硫酸銅及鹽化石灰を水に混溶してある Mg 又は Al 又は夫等の合金の電氣鍍金用中間鍍金液。

爐の改良 (13年特許公告第2683號, 公告13-7-11, 東京市, チェルベルグ株式會社) 戸の開閉に際し外氣によりて處理せらるべき材料の酸化又は爐内の冷却するを防止し常に爐内の溫度を高溫度に且一様に保持し得べき爐を得んとする目的を以て, 戸の直後の下部に廢ガス孔が設けられ該孔を通して廢ガスの爐外に導出せらるゝ如くなれることを特徴とする火焰が爐壁と爐床との間隙を通して上

昇し爐床上の焼入又は焼鈍室に入る焼入又は焼鈍用爐。

アルミニウム箔打紙製造法 (13年特許公告第2687號, 公告13-7-11, 金澤市, 田島善次) 白銀色の Al 箔を得る耐久力に富む打紙を得んとする目的を以て, 楮皮と曹達灰液にて煮熱水洗して得たる纖維と切藁を苛性曹達液にて煮熱水洗して得たる纖維とを混じたるものに黃蜀葵根粘液を混和し之等を抄造して得たる紙を灰汁に浸して叩打しつゝ夫れの表面の纖毛を除去整伏したる後一旦乾燥し之に墨汁を塗布し若くは塗布せず更に之を少量の Sb を加へたる酒石酸加里水溶液中に浸したるものを乾燥したる上叩打を繰返すことを特徴とする Al 箔打紙製造法。

陶齒に金屬床を鑄着する方法 (13年特許公告第2700號, 公告13-7-13, 東京市, 株式會社東洋醫藥化學研究所) 陶齒の高熱加熱に起因する龜裂及破折を防止し乃至數齒をワンピースとせる優良なる金屬床を容易に義齒に鑄着せんとする目的を以て, パラビン等にて作られたる假床に任意の陶齒を植立し陶齒の露出面には適當の硬度を常に保持し且耐熱溫性を保有すべき特殊の齒科技工用陶齒保護劑を固泥狀に練合したるものを被着し之を通常の鑄造埋沒剤中に埋沒して所要の熔融金屬を注入し鑄造すべき陶齒に金屬床を鑄着する方法。

不溶性陽極を使用する金屬の電解製鍊方法 (13年特許公告第2712號, 公告13-7-13, 東京市, 三菱鑛業株式會社) 之に依り電解液の表面に強固永續性の泡沫を形成せしめて不溶性陽極の使用に依り發生する電解液細霧の逸散を防ぎ該電鍊操業を衛生的ならしめ且建築構造物の腐蝕を防止する目的を以て, 大豆を $70^{\circ}C$ 以下に於て有機溶劑を以て電解に對する有害物質を抽出除去し次で水を以て處理し得たる浸出液を單獨或は他の添加劑と共に電解液に添加することを特徴とする不溶性陽極を使用する金屬の電解製鍊方法。

薄板工場用火爐裝置 (13年特許公告第2714號, 公告13-7-13, 西宮市, 北村廣清) 一旦壓延ロールを通過し出でたる鐵板をロールの裝入側に返送するに要する時間を利用して該鐵板の再加熱を行ひ以て燃料を節約すると同時に作業能率を高めんとする目的を以て, 多數組の壓延ロールを一軸線上に連結運轉する薄板工場に於て上記軸線の一側方に鉄取出口を有する火爐の煙道を延長して該軸線の反對側に達せしめ其先端の鉄裝入開口部と火爐との間に煙道内に沿ひ原料鉄搬送用コンベヤーを設けたる火爐裝置。

クロム鐵鍍を原鍍とする金屬クロムの製造 (13年特許公告第2749號, 公告13-7-15, 大阪市, 小松原久治) Cr 鐵鍍より金屬 Cr を容易經濟的に得んとする目的を以て, 粉碎したる Cr 鐵鍍に濃硫酸を加へて加熱し得らるゝ溶液を放冷して生ずる結晶を水に溶き醋酸酸性に於て硫化石灰を添加し鐵分其他の析出物を沈澱せしめ其の濾液に曹達液を加へ Cr を水酸化物として採取し後之を常溫に従ひ金屬 Cr とすことを特徴とするクロム鐵鍍を原鍍とする金屬クロムの製法。

耐火モルタル製造法 (13年特許公告第2755號, 公告13-7-15, 長野縣, 有吉巍) 耐火モルタル使用に際し注水と同時にモルタル中に於て硫酸アルミニウム, メタ珪酸曹達, 輕燒酸化苦土相互の内に化學反應を起し非常に糊狀粘着なる水酸化アルミニウム, 礬

土酸苦土或は珪酸苦土の沈澱を生ずることに依り耐火モルタルの粘着性を増大すると同時に輕燒酸化苦土の常溫硬化性に依り常溫硬化は勿論溫度上昇と同時にモルタルは硬化融合して非常に強力なる耐火煉瓦の接合剤を得んとする目的を以て、無水硫酸アルミニウムに粉末メタ珪酸曹達を加へたるものに輕燒酸化苦土を添加することを特徴とし之に高礬土質耐火粘土を燒成粉碎せるシャモットを混合する耐火モルタル製造方法。

連續鑄造裝置 (特許公告第 2773 號, 公告 13-7-18, 東京市, 沖本希三) 構造簡單且使用容易にして能率的なる鑄造裝置を得る目的を以て、輪體の外周に凹凸任意の刻みたる輪狀鑄型と其の外側周面の一部に沿ひて無端帶狀の合せ型とを設け此の兩型を緊密に合せて等速に運行せしめ又兩型が相接する點より離間する迄の間に於て兩型の間隔を漸次僅かに壓迫する如くなす爲 2 個或は 2 個以上のガイド車輪或は數個のローラーを以て帶狀型を調整せしめ更に鑄體の排出口に近く 2 個或は數個の矯正ロールを設けて鑄體の矯正壓延を行ひつゝ鑄體を製造すべくしたる連續鑄造裝置。

ハンダ着機に於けるハンダ棒供給裝置 (13 年特許公告第 2783 號, 公告 13-7-18, 大阪市, 吉田光次郎) 槽内の熔解ハンダの減少時浮子より關聯機構に作動せしめて動力に連絡し送出しロールにてハンダ棒を捲棒より抽出せしめて槽内に供給し其の熔解量が所要に適し浮子が所定の位置迄上昇したる時はハンダ棒の供給熔解を遮断すべく以て熔解槽内のハンダの適量で適當溫度を保ち作業の統一と能率増進を計り並に工手の投入に依る煩勞を除き猶之が飛沫散亂の危険を防止するの便法を得んとする目的を以てハンダ棒を挾持して送進すべきロールの一とクラックの作動に依り常に搖動する搖杆上の爪杆にて廻動せしめらるる追齒輪とを同軸に固着し更に該搖杆には前記爪杆の一端に設けたる鈎に掛しすべき鈎杆を樞着し該鈎杆の接子とハンダ熔解槽中の浮子の上昇及沈下により運動せしめらるる槓杆上に設けたる鈎との接觸及離間に依り搖間の運動を追齒輪に傳動及遮断せしむる事を特徴とするハンダ着機に於けるハンダ棒供給裝置。

電氣抵抗熔接法 (13 年特許公告第 2799 號, 公告 13-7-18, 大阪市, 早崎又雄) 熔接面に於ける電氣抵抗を増大することに依り電氣抵抗熱を熔接面に集中し比較的弱き電流を以て完全なる熔接を行ひ得る簡單なる方法を得んとする目的を以て、相互に熔接せらるべき材片の熔接面内に適當なる材質より成る金網を介入することを特徴とし普通の如く材片内に熔接電流を通ずると同時に熔接壓力を適用する電氣抵抗熔接法。

電解熔接用被覆電極棒 (13 年特許公告第 2800 號, 公告 13-7-18, 東京市, 三菱重工業株式會社) 熔接作業容易確實にして諸機械的性質特に運動量著しく大なる打撃又は點衝擊に對する抗力なるオーステナイト組織の熔着鋼を生成せしめて熔接し得べき電極棒を得る目的を以て、フェロマンガニ約 5~13%, 二酸化マンガニ約 9~14%, フェロモリブデン約 2~6% を含み炭酸石灰, 石英及珪酸曹達を配合せる被覆劑を Cr 約 18% 及 Ni 約 8% を含む低炭素合金鋼よりなる芯線の周圍に該芯線に對し重量比にて約 25~31% の割合となる如く塗着したる電弧熔接用被覆電極棒。

鑄巢試驗機 (13 年特許公告第 2802 號, 公告 13-7-20, 東京市, 丹羽銀三, 外一名) 鑄造物に於ける鑄巢の有無及鑄鐵汽罐内深部の肉厚斑或は總て鉸鉋の弛緩を容易且正確に探知し危險を未然に防止し得ると共に簡單なる裝置に依り携帶至便ならしめ得る目的を以て、下部に護膜環を嵌着せる聽音器の膨大頭部に二本の聽診管及

一側に音響調節扉を取付け膨大部に内装せる震動板の中心より感受線を平板上に接觸すべく着脱自在に垂下せしめる膨大部に接着せる氣筒に可撓管を接續し護膜握球又は足踏送風器により送氣せしめて唧子に昇降運動を與え該唧子杆端に上端を定着し屈曲端を聽音管内に導入したる打杆に局所的震動を起さしめんとする鑄巢試驗機。

アルミニウム合金合せ板 (13 年特許公告第 2823 號, 公告 13-7-20, 大阪市, 住友金屬工業株式會社) 合せ板被覆材の電溶壓を大ならしめ以て完全なる耐蝕性合せ板を得んとする目的を以て、Al 合金を Zn 0.5~4% 及 Cr 0.1~1% を含有する Al 又は其合金の被覆材を以て被覆したる事を特徴とする Al 合金合せ板。

異形鑄鐵管の改良 (13 年特許公告第 2910 號, 公告 13-7-25, 大阪市, 久保田權四郎) 合理的補強法を以て主管たる直管と同程度の強さを有する異形鑄鐵管を経済的に得んとする目的を以て、Y 字形 T 字形等異形鑄鐵管の管交叉部に於ける共通横斷面を其の短軸方面に於て擴大して管交叉部の内腔を擴開し該擴用部に於ける管内側に補強リブを鑄出したる事を特徴とする異形鑄鐵管。

チルド、ロールの鑄造用鑄型 (13 年特許公告第 2914 號, 公告 13-7-25, 兵庫縣, 橋本享) 方法簡易工費低廉に孔型ロールの場合に於ても良く其の表面より所要の深さ迄各部均一にして完全なるチルドを爲さしめんとする目的を以て、ロール鑄造用の金型内部に造られたる適宜中空形狀の砂型内部の周邊に近く螺旋形狀に圍繞せしむべく適宜の中空可撓管を埋込み堆積裝置し置き熔銑の注入を終ると同時に該可撓管の金型外部に露出せしめたる一端より適宜の方法を以て其の内部に冷水又は冷風を注入又は壓送して他端より外部に排出せしめ以て該鑄造物の表面を急冷することを特徴とするチルド、ロールの鑄造用鑄型。

鑄型製造機に於ける鑄砂に對する壓縮力調整方法 (13 年特許公告第 2915 號, 公告 13-7-25, 大阪市, 植田良一) 鑄造に適當する優良なる鑄型を得んとする目的を以て、鑄型製造機に附屬する見出し表と對照し瓣の強さを加減して壓縮シリンダーより過剩壓力を抜き以て鑄砂壓縮板の單位面積に加へらるる壓力を注湯さるる地金の種類と型枠の大小に應じて略一定せしむる事を特徴とする鑄型製造機に於ける鑄砂に對する壓縮力調整方法。

銅及鉛浮選精鑄粉の團鑄製造方法 (13 年特許公告第 2993 號, 公告第 13-7-29, 東京市, 日本鑄業株式會社) 粒度 200 ムッシュ程度の微細なる粉粒にして濕潤せられ泥狀を呈する浮選精鑄粉を強固なる團塊に形成すべき適切なる方法を得んとする目的を以て、銅及鉛等の浮選精鑄粉を製造するに當り先づ之に水を加へつゝ充分混捏し水分 20~50% を含有する流動體となし次に之に等量の乾燥せる砂狀の煙灰又は硫酸滓等を加へて攪拌混合せる後珪酸質粉鑄及び消石灰を加へ攪拌混合し含水量 10% 内外の状態に於て之を加壓成形し高壓蒸汽の下に於て蒸煮する事を特徴とする銅及鉛等の浮選精鑄粉の團鑄製造方法。

青化製鍊法の改良 (13 年特許公告第 2994 號, 公告 13-7-29, 大阪市, 松川達夫) 金銀鑄中の金及び銀の溶解を極めて容易に促進せんとする目的を以て、金銀鑄を處理する青化加里或は青化曹達溶液に鑄石の 0.005%~0.5% の晒粉を混入せしむる事を特徴とする青化製鍊法の改良。

鉛青銅を鐵又は鋼製軸承殼に鑄着せしむる方法 (13 年特許公告第 3017 號, 公告 13-8-1, 東京市, 岩崎巖) 操作簡單にして且多量生産的方法に依りて有效確實に鉛青銅を裏裝せる鐵又は鋼製軸承殼を得んとする目的を以て、鐵又は鋼製軸承殼に鉛青銅

を鑄着裏装せしむるに當り鉛青銅を鑄着裏装せしむべき鐵又は鋼製軸承殼部分を鑄型内に配置せしむると共に前記の軸承殼部分に附設せる附加部分を鑄型外に在らしめ斯く鑄型内に於て該軸承殼部分に鉛青銅を鑄込みたる後鑄型外の其附加部分より先づ冷却せしむることを特徴とする鉛青銅を鐵又は鋼製軸承殼に鑄着せしむる方法。

菱苦土鑄よりマグネシウム電解質を製造する方法 (13年特許公告第3027號, 公告13-8-1, 東京市, 三菱鑛業株式會社) 比較的低溫度に於て天然の材料より直接に而も簡單且經濟的に Mg 電解質を得んとする目的を以て, 菱苦土鑄又は燒成マグネサイトに炭素質還元劑及アルカリ金屬鹽化物の一種又は數種或はアルカリ金屬とアルカリ土類金屬とのハロゲン化物を混合して之れを 200~800°C に於て鹽素ガスフオスゲン又は鹽素を含有する還元性ガスを以て處理することを特徴とするアルカリ金屬鹽化物又はアルカリ金屬とアルカリ土類金屬とのハロゲン化物を含有する無水鹽化マグネシウムを製造する方法。

アルミナ製造法 (13年特許公告第3028號, 公告13-8-1, 東京市, 一方井卓性, 外一名) 前記工程の結合に依り Si, Fe, Ti 等の除去を著しく有效ならしめ酸化状態に在る不純物を含有する原料より簡單に純度高き Al_2O_3 を製造せんとする目的を以て Al_2O_3 原料に炭素質物酸化カルシウム及硫黄又は其の化合物を加へ之を熔融してアルミナ, カルシウムアルミネート硫化物及不純物よりなるアルミナ鐵を製造し不純分として含有する Si, Fe, Ti, Fe, 及其等の化合物の大部分を金屬の形態として分解する工程とこのアルミナを鹽素又は鹽素を含有するガスを以て高温に於て處理し Si, Fe, Ti 等の不純物を揮發除去する工程と次に鹽素處理せる後のアルミナ含有物を稀薄する酸アルカリ溶液又は水にて抽出洗滌してアルミナを殘渣として得る工程との結合を特徴とするアルミナ製造方法。

珪酸ニッケル貧鑄煉法 (13年特許公告第3032號, 公告13-8-1, 大阪府, 小松原久治) 國產貧鑄 Ni を處理して有利に金屬 Ni を得んとする目的を以て, 珪酸 Ni 鑄石を粉碎し水を加へ泥狀となしたるものに亞硫酸ガスを吹込みて含有 Ni 分を溶出するを特徴とし後其の得らるる溶液より常法に基き Ni 分を沈澱せしめ採取し製煉處理に附することより成る珪酸 Ni 貧鑄の製煉法。

マグネシウム合金の腐蝕に對する抵抗を改善する方法 (13年特許公告第3033號, 公告13-8-1, 東京市, 航空研究所長) 簡易なる處理に依り Mg 合金の耐蝕性を増大強化せしめんとする目的を以て, Mg 合金に Mn を添加し均一に熔合せるものを容積にて 0.001~10% の空氣又は水蒸氣を含有せる H_2 又は N_2 氣中に於て 250~350°C に加熱處理し上記合金面に緻密なる酸化被膜を構成することを特徴とする Mg 合金の腐蝕に對する抵抗を改善する方法。

錫鑄製煉操作中に生ずる一中間物の處理方法 (13年特許公告第3061號, 公告13-8-3, 東京市, 三菱鑛業株式會社) 從來處理困難として廢棄せらるる、か或は甚だ繁雜なる手数を要したる以上中間物を至極簡單なる操作によりて經濟的に錫製煉原料として使用するを得る如くなしたるものにして, 錫鑄製煉途中に生ずる一中間物に其の含有砒素を砒酸ソーダとなすに必要なる理論量又は稍過剩の曹達灰を加へて酸化焙燒し焙燒物を温湯を以て洗滌して砒素を除去し此の砒素を砒酸曹達として利用し洗滌殘滓を錫製煉原料として使用する錫製煉途中に生ずる一中間物の處理方法。

中間體例へば管體の擴孔をなす壓延機の改良 (13年特許公告第3096號, 公告13-8-5, 獨逸國, ドイツテゴ, レーレンウ

エルケ, アクチエンゲゼルシャフト) 普通型の壓延機を使用するを得せしめ且加工材の先端迄加工し得しめんとする目的を以て, 内側圓錐狀中グリ棒又は内側コロ組と之等中グリ棒又はコロ組に關係的に傾斜して配置せられたる外側コロ組とを備へたる中空體の壓延機に於て外側コロ組は夫々大なる直徑部分と小なる直徑部分とを有し之等コロは交互に大なる小なる直徑部分とを反對の向きとなし以て之等コロに依り交互に管體を把持し且之を前記内側中グリ棒又は内側コロを越えて牽引し該管體を擴孔すべくしたる管體の如き中空體の擴孔をなす壓延機。

アルミニウム又は其合金面に電解陽極酸化皮膜を生成せしむる方法 (13年特許公告第3101號, 公告13-8-5, 東京市, 株式會社日立製作所) Al 又は其の合金製物品の表面に顯著に厚く又緻密なる酸化皮膜を容易に生成せしめ物品として例へば Al 避雷器コーン又は電解整流器の電極に實施したる場合に夫等の耐電壓を著しく高上せしめて形體を小ならしめ其他長壽命なる一般酸化皮膜附製品を提供せんとする目的を以て, Al 又は其の合金を一方又は双方電極として之を電解槽に容れたる公知の電解液に浸漬せしめ之に直流又は交流を通じて電解を行ひて Al 又は其の合金面に電解陽極酸化皮膜を生ぜしむるに當り前記電解槽を密閉室内に收納し該室内に特に高氣壓を加へつゝ電解を行ふことを特徴とする Al 又は其の合金面に電解陽極酸化皮膜を生成せしむる方法。

金物の電鑄方法 (13年特許公告第3102號, 公告13-8-5, 東京市, 東洋ブロンズ株式會社) 母型に特殊の加工を施すことに依り電鑄に際し鍍金層の縁が不規則に盛り上ることを防止して形體を整へ爾後の仕上を容易ならしめ尙寧る該縁部に内向突縁状のものを自然に形成して縁部の補強をも兼ねしめ以て優良なる電鑄製金物殊に大形の金物を簡便且經濟的に製造するに有效なる方法を供する目的を以て, 石膏, 蠟等より成る母型に先づ其の輪廓部乃至内部凹凸全面に互り金屬粉, 黒鉛粉の如きものを以て, 導電表面を形成し次で其輪廓部たる外圍突出部の内周縁並に透しとなるべき内位突出部の周縁を何れも所々に導電表面を残す如く大部分を適度の幅を以て斜めに削除し母型の生地を露出せしめて非導電周縁を形成し更に外圍突出部の表面並に内位突出部の表面に非導電周縁に沿ふ導電帯を設け且該導電帯を非導電周縁の所々に存せしめたる導電表面を介し母型内部の導電表面に連續せしめて特殊の母型を作ることとを特徴とし然る後該母型を用ひ所望の鍍金を施すことより成る金物の電鑄方法。

アルミナ及含アルミナ鑄の浮游選鑄法 (13年特許公告第3103號, 公告13-8-5, 臺灣臺北市, 松野吉松) バイン油, 樟腦油の如き普通起泡劑よりも遙かに卓越したる Al_2O_3 の浮游選鑄效果を得る目的を以て, Al_2O_3 及含 Al_2O_3 鑄に對する起泡劑としてシトロネラ油を使用することを特徴とする Al_2O_3 及含 Al_2O_3 鑄の浮游選鑄法。

熔接用交流發電機 (13年特許公告第3145號, 公告13-8-8, 獨逸國, シーメンス, シュツケルトウエルケ, アクチエンゲゼルシャフト) 發電機の勵磁調整を特に敏感ならしめ以て發電機電壓の所望調整を敏速ならしめ且始動勵磁用の別個の始動用勵磁巻線を不用ならしむべく原特許發明を改良せんとする目的を以て發電機勵磁が整流裝置を介して別個の交流線路より供給せられ且其の勵磁電流量は前記整流裝置の交流側に挿入せられ而も發電機の負荷側より豫備磁化せらるる寒流線輪にて決定せらるることを特徴とする無負荷電壓が負荷電流に關聯して低下せらるる如き昭和12年特許出

願第 13099 號 (昭和 13 年特許出願公告第 1606 號) 發明に據れる
 熔接用交流發電機。

鑄型材 (13 年特許公告第 3159 號, 公告 13-8-10, 東京市, 高野廣作) 成形容易なるのみならず之を使用せる鑄型はガス抜け良好にして伸縮せず且幾回も連続して使用し得る目的を以て, 金屬粉と粘土とを混練して成る鑄型材。

鐵管自動熔接機 (13 年特許公告第 3169 號, 公告 13-8-10, 堺市, 廣野又吉, 外三名) 熔接初期に於ては高熱にて其後は夫れより若干低温にて熔接する所人為的熔接の特徴を機械化し正確にして平滑に鐵管を自動的に能率よく熔接せしめんとする目的を以て, 被動軸に形成せるウオームの兩側にウオームホキールを齧合せしめ其截函を支桿により移動自在に樞支し且ウオームホキールの軸には可動受板と上端に鐵管を繰送すべき轉子を固着し基棒上には支板を固定して之に載板を定着し其の上部に鐵管の間隔に嵌入する導片を挿入し又狀杆を形成したる移動棒を鑷にて移動し得る如く取付又基棒上には梁杆を固着し其中央部に導板を定着し之に蟻溝にて補助板を固着され内面に齒列を形成したる揺動板を上下動自在に嵌挿し揺動板と補助板との間にはガスバーナーを挾着する外筒の支桿を挾着し上記梁杆の中央には齒列と齧合する齒車を軸架し該齒車に固着せる串には常に一方に牽引され鐵管に接軸する毎に左右動すべき調整板の移動により挺杆方式により左右動し該齒車を廻轉すべき横動桿を関連せしめガスバーナーの下方には前記又狀杆間に介在すべき導桿を固定し而して常に廻轉さるゝ偏心軸の偏動環とガスバーナーとを支片を介して連板にて接離自在に關着したることを特徴とする鐵管自動熔接機。

鑄型製造機の氣動模型拔取裝置 (13 年特許公告第 3195 號, 公告 13-8-12, 東京市, 松淵頼俊) 本模型拔取裝置に通氣して模型拔取操作を爲すに當り其の發動する位置の如何に拘らず模型面より鑄肌砂面が離間せざる内は是れを強いて引き抜くこと無く自然に調子を取りつゝ徐々に抜かざるが如くして然も短時間の内に完全に是等を離間せしめたる上其離間せる瞬間迅速なる模型拔取操作を遂行し以て砂肌面を毀損するが如きことなき模型拔取裝置を得て従來素人工が取扱に苦しみたる該操作を迅速にして完全然も取扱極めて容易ならしむる目的を以て, 豫め鑄型製造機の機床に締着せる有底圓筒に内部に中棚を有し該中棚に直徑小なる唧子を彈子の上に載挿したる有底圓筒の底部に細孔を又中棚の下方に稍々大なる側孔を夫々穿設したる有底管を包容締着せしめたる模型拔取用有蓋筒を滑動自在に嵌入し該有蓋筒の中腔部に送氣口の下位に達するまで油類を充滴し其上部に壓力氣體を通排すべくしたる鑄型製造機の模型拔取裝置。

耐摩耗性軸其他の摺滑面調製法 (13 年特許公告第 3210 號, 公告 13-8-12, 横濱市, 石川喜市) 質緻密堅硬にして摩擦抵抗少く耐摩耗性極めて強大なる表層を廻轉軸々承等の摺滑面に剝離する憂なく生成せしむる目的を以て, 廻轉軸, 軸承等の摺滑面に無水クロム酸を主要成分とする通常の Cr 電鍍浴に依り比較的低温低電流密度の下に軟質の Cr 又は Cr 合金を電鍍して其上に高温高電流密度の下に硬質 Cr 又は Cr 合金を電鍍し之を交互的に反覆して所期の厚さに積層被覆せしむる事を特徴とする耐摩耗性軸其他の摺滑面調製法。

特 許 抜 萃

特許番號	名 稱	特 許 權 者	鐵 と 鋼
125531	銀合金の改良	金屬材料研究所長	第 24 年 5 號
125587	廻轉機構用原動發條の製造法	戸室銀次郎	な し
125638	軸承の製造方法	アドモス, ブライ グロンツエ, ドク トル, スプリング, オルム, ウント, コムパンイ, コマ レデイト, デゼル シヤフト	な し
125640	銲 接 方 法	パブコック, アンド ウィルコックス リシチツト	第 24 年 4 號
125205	蓄電器に依り補償せられたる並列接續の誘導負荷の開閉裝置	シーメンズ, シュ ツケルトウエルケ, アクテングゼル シヤフト	な し
125230	鐵及非鐵金屬酸化鑄の製鍊法	三菱鑛業株式會社	第 24 年 3 號
125231	輕 金 屬 合 金	コンケルス, フル クツオイク, ウ ント, モトレン ウエルケ, アクテ ニングシヤフト	第 24 年 3 號
125243	銅粉製造方法	遞 信 大 臣	第 24 年 4 號
125244	ディーゼル機關用燃料のセチン價向上法	海 軍 大 臣	第 24 年 4 號
125257	被覆熔接棒製造方法	三菱重工業株式會社	第 24 年 3 號
125262	人造纖維フィルム及類似物製造用壓出裝置	ベーカン, エンド, コムパニー, イン コーポレーテッド	な し
125273	精選鑄々石又は此等と類似物質を燒結する裝置	アングース, ホル ムハンゲ	第 24 年 3 號
125274	タングステンを含む錫精鑄の處理法	三菱鑛業株式會社	第 24 年 4 號
125292	亞鉛引板の加工法	吉 川 淺 治 郎	第 24 年 2 號
125294	銅 合 金	ウエスラングハウ ス, エレクトリツ ク, エンド, マヌ ファイチュアムリ ングコムパニー	第 24 年 3 號
125297	均質なる鉛銅合金の製造方法	松 川 達 夫	第 24 年 3 號
125345	硬質合金製造法	株式會社川西機械 製作所	第 24 年 4 號
125360	鑿 岩 機	古河鑛業合名會社	な し
125363	硫 黃 溶 解 製 煉 法	南 波 禮 吉	な し
125364	コークス製造方法	河西コークス製造 株式會社	な し
125365	腐蝕の鹽基置換吸收作用を應用する濕式製鍊法	日 置 雅 章	な し
125373	耐熱耐酸合金層の形成法	齋 藤 長 八 郎	第 24 年 4 號
125391	電氣分銅泥漿處理裝置	日本鑛業株式會社	第 24 年 4 號
125399	海綿鐵を鍊塊に加工する方法	三菱鑛業株式會社 外一名	第 24 年 4 號
125413	亞酸化銅整流板の性質改善方法	株式會社京三製作 所	第 24 年 4 號
125435	金屬體伸延方法	株式會社住友電線 製造所	第 24 年 2 號
125463	珪酸質ニッケル鑄の處理方法	熊谷三狹男外一名	第 24 年 3 號
125511	鍛鍊用高力アルミニウム合金	住友金屬工業株式 會社	第 24 年 5 號
125744	炭素電極豫備燒成裝置	電氣化學工業株式 會社	第 24 年 4 號
125741	特殊鋼板スケールの除去方法	日本製鐵株式會社	第 24 年 5 號
125734	煉 炭 製 造 法	燃料研究所長	な し
125807	硬 質 輕 合 金	株式會社那須アル ミニウム製造所	な し
125874	非又は弱粘結炭より硬質コークス製造法	燃料研究所長	第 24 年 5 號
125693	金屬と減摩性物質の結合體生成法		